

中施策評価書

作成日 令和06年 6月 6日

中施策事業名	スポーツ補助金事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	相羽 敏明
①めざすまちの姿	11 子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている		
②大施策	誰もが気軽に運動を楽しみ、健康に暮らせるまちをつくる		
③中施策	一緒に運動を楽しむ仲間を増やし、リーダーを育成する		
④中施策事業の対象	市内在住、在勤者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	気軽に運動ができるように、仲間に囲まれ、指導者にも恵まれている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・選手派遣補助事業（スポーツ協会・レク協会等） ・スポーツ協会（16団体）事務及び調整 ・レクリエーション協会（4団体）事務及び調整 ・スポーツクラブ事務局 ・ふれあい広場設置補助事業（2団体）		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
県大会以上への出場者数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	27	27	27	27	27	0
	実績値	23	50				
単位	人						
スポーツクラブ登録者数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	200	200	200	200	200	0
	実績値	248	304				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				6,437千円	6,616千円	
	a 事業費合計			6,437千円	6,616千円	6,776千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				6,437千円	6,616千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				94 円	96 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B スポーツクラブの登録者はクラブ数が増加したことで参加数も大幅に増え、目標の達成が継続できている。 また、県大会以上の出場者数も目標達成ができており、今後も補助事業の周知・活用により県大会以上の出場者がさらに増えることを目指し、市民がスポーツを気軽に楽しむことができるようにしていく。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	各団体の活動を様々な機会を通して周知し、参加者数の増加を目指す。また市民が様々なスポーツが選択できるよう、クラブ数の増加も目指していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	各助成団体相互の連携を支援し、市民が気楽に様々なスポーツに参加できる仕組みづくりを行っていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 6月 6日

中施策事業名	スポーツ振興事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	相羽 敏明
①めざすまちの姿	11 子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている		
②大施策	誰もが気軽に運動を楽しみ、健康に暮らせるまちをつくる		
③中施策	誰もが運動を楽しめる機会や場をつくる		
④中施策事業の対象	市内在住、在勤者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	誰もが楽しみながら運動に親しみ、健康的な生活を送っている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・豊明市スポーツ表彰事務 ・各団体競技の調整 ・スポーツ推進計画審議会（計画進行管理） ・市民歩け歩け運動 ・スポーツ講演会 ・市民レクリエーションスポーツ教室		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
スポーツ賞表彰対象者	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	68	68	68	68	68	0
	実績値	43	37				
単位	人						
市民スポーツ大会参加者数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	3,750	3,750	3,750	3,750	3,750	0
	実績値	1,307	0				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				5,633千円	6,373千円	
	a 事業費合計			5,633千円	6,373千円	31,735千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				5,633千円	6,373千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				82 円	93 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B コロナウイルス感染症の取扱いが変更となり、スポーツ大会への出場者数は増加しているものの、目標にはまだ届いていない。スポーツイベントやスポーツ施設に関する情報発信が十分でなかった。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	スポーツイベントなどを一覧にし、わかりやすい周知方法を検討する。また市制50周年記念マラソンを開催するが市民が多く参加できるような種目をマラソン事業者などと協議していきたい。また部活動の地域移行についてはモデル事業の問題点などを整理し、モデル事業種目の増加を、関係者と協議していきたい。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	部活動の地域移行の本格実施に向け、利用者の費用負担や家計困窮世帯への助成を検討する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 6月 6日

中施策事業名	体育施設維持管理運営事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	相羽 敏明
①めざすまちの姿	11 子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている		
②大施策	誰もが気軽に運動を楽しみ、健康に暮らせるまちをつくる		
③中施策	誰もが運動を楽しめる機会や場をつくる		
④中施策事業の対象	施設利用者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	健康的な生活を送るため、快適な環境で運動に親しんでいる		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・施設に係る修繕工事等 ・用地借地契約 ・体育施設利用調査、調整事務（優先団体使用・グラウンド・テニスコート） ・行政財産目的外使用料算定、許可 ・指定管理（委員会） ・備品台帳の整理		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
福祉体育館及び体育施設等の利用者数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	217,400	217,400	217,400	217,400	217,400	0
	実績値	201,134	205,201				
単位	人						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				138, 043千円	266, 967千円	
	a 事業費合計			138, 043千円	266, 967千円	83, 567千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計			0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				138, 043千円	266, 967千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				2, 006 円	3, 879 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B コロナウイルス感染症の取扱いが変更となり、利用人数は徐々に増えつつある。コストは、指定管理料のほか本年度は山田グラウンドの用地購入によるもので、概ね妥当であると判断している。 なお、本年度は体育館等の指定管理者の更新を行った。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	施設が全体的に老朽化しており、修繕・改修等が必要な場合に予算確保等に時間を要することがあったが、本年度は従来より若干営繕工事費を確保できることとなった。安全な施設利用ができるようにすることはもちろん、併せて快適な施設となるよう指定管理者と協議しながら進めていきたい。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	指定管理者選定時の事業者提案から、施設の魅力向上につながるものを指定管理者と協議していきたい。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 6月 6日

中施策事業名	公民館管理運営事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	相羽 敏明
①めざすまちの姿	15 誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができている		
②大施策	身近に寄り合える場所をつくり、地域で支え合える環境をつくる		
③中施策	多様な人が交流する機会を充実させ、地域での人と人とのつながりをつくる		
④中施策事業の対象	市内在住、在勤者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	それぞれの教養を高めながら活発に交流している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 公民館サークル ・ 公民館まつり ・ 公民館の運営及び運営審議会、公民館連合会 ・ 公民館講座等		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
南部公民館利用件数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	6,000	30,000	30,000	30,000	30,000	0
	実績値	11,775	12,353				
単位	人						
公民館講座等参加者数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	0
	実績値	22,906	23,002				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				21, 063千円	86, 171千円	
	a 事業費合計			21, 063千円	86, 171千円	23, 721千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)			292千円	0千円
③ コスト (①－②)			20, 771千円	86, 171千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))			302 円	1, 252 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 南部公民館のリニューアル工事のためおおよそ8か月施設の利用ができなかったことが目標の達成ができなかった要因である。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	南部公民館のリニューアル工事が終了したので、市民に魅力のある講座を数多く企画していきたい。また市民大学ひまわりの講座の充実を働きかけていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	南部公民館の利用者数の増加に向け、駅利用者以外の人への広報方法を検討していきたい。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 6月 6日

中施策事業名	文化広場管理事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	相羽 敏明
①めざすまちの姿	15 誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができる		
②大施策	身近に寄り合える場所をつくり、地域で支え合える環境をつくる		
③中施策	多様な人が交流する機会を充実させ、地域での人と人とのつながりをつくる		
④中施策事業の対象	施設利用者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	多様な人が、健康で文化的素養を相互に高めている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 勅使会館の管理、運営及び支払いに関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
勅使会館の利用人数（和室）	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300	0
	実績値	1,386	2,053				
単位	人						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				4, 698千円	4, 947千円	
	a 事業費合計			4, 698千円	4, 947千円	10, 483千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				44千円
③ コスト (①－②)				4, 654千円	4, 947千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				68 円	72 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B コロナの扱いが変更になり施設利用者数は増えているものの、目標の半分程度にとどまった。特に宿泊に関しては収入に比べ経費が増大しているので宿泊利用を6年度から止めることとした。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	引き続き施設利用の周知に努め、利用の閑散期に講座開催をするなど指定管理者と協議しながら利用者の増加を図る。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	宿泊の利用に合わせ浴室の利用もやめたが、シャワー等の有効活用ができないか検討する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 6月 6日

中施策事業名	青少年対策事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	相羽 敏明
①めざすまちの姿	17 子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している		
②大施策	子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動できるまちをつくる		
③中施策	地域ぐるみで子どもを育て、見守る環境をつくる		
④中施策事業の対象	市内小中学生及び地域の人たち		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	小中学生が、それぞれの地域で、地域の人たちに支えられ、生き生きと暮らしている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・青少年健全育成地区連絡協議会及び家庭教育推進協議会・青少年健全育成推進員・二十歳の会に関すること・家庭教育学級に関すること・民謡講習会及び子どもフェスティバル		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
放課後子ども教室 登録児童数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位	人						
親子ふれあい事業 参加数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	100	100	100	100	100	0
	実績値	107	89				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				5,422千円	3,464千円	
	a 事業費合計			5,422千円	3,464千円	5,069千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				5,422千円	3,464千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				79 円	50 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 家庭教育学級は周知をしているものの、参加人数は減少傾向である。青少年健全育成事業については各地区の方々のご尽力いただいている。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	社会情勢や市民意識の変化から従来の家庭教育学級の運営は難しくなっているので、来年度以降の事業自体の縮小や廃止などを6年度中に検討し、各学級の理解を求めていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	母親だけではなく、父親や祖父母も参加しやすいような講座を検討していきたい。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 6月 6日

中施策事業名	社会教育活動事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	相羽 敏明
①めざすまちの姿	17 子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している		
②大施策	子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動できるまちをつくる		
③中施策	地域活動を活発にする		
④中施策事業の対象	市内小中学生		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	小中学生が、地域の人たちに支えられ、活発に活動している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 人権教育 ・ 社会教育委員会 ・ 情報誌の発行ＨＰの運営 ・ 市Ｐ連 ・ 女性の会補助金・文化系ジュニアクラブ（CJC）		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
文科系ジュニアクラブ数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	7	7	7	7	7	0
	実績値	6	6				
単位	クラブ数						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				4, 671千円	4, 917千円	
	a 事業費合計			4, 671千円	4, 917千円	7, 540千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計			0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				4, 671千円	4, 917千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				68 円	71 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 参加人数はほぼ横ばいであるが、地域の人と子どもとの関わりがあり、つながりを作る役割を果たしている。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	指導者の高齢化により活動が難しくなっているクラブがある。こういったクラブとは後継者確保策を一緒に考えていきたい。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	CJCの講師側において高齢化が進んでいるので後継者の選任などをクラブと一緒に考えていきたい。また現在のクラブのほかに活動が可能なものがないか検討していきたい。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 6月 6日

中施策事業名	文化会館管理運営事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	相羽 敏明
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	市内外の人がとよあけの魅力を楽しめる環境をつくる		
④中施策事業の対象	施設利用者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	文化的素養を育み、文化、芸術を発信している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・施設に係る修繕工事等 ・指定管理 ・会館の財産等 ・公立文化施設協会（施設損害賠償保険含まず）		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
利用者数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	137,500	137,500	151,200	151,200	151,200	0
	実績値	113,203	102,234				
単位	人						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和04年度	令和05年度	令和06年度	
① 総事業費 (a+b)				104, 155千円	101, 466千円		
	a 事業費合計			104, 155千円	101, 466千円	102, 526千円	
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
			人件費合計			0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)			104, 155千円	101, 466千円			
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				1, 514 円	1, 474 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価 B 指定管理者にて行う事業が大部分であり、モニタリングでも概ね妥当であると判断している。指定管理者の変更があり、利用者の不安も心配されたが特段問題なく事業遂行されていると考える。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	旧喫茶ルームの農協の産直利用が終わるので、ここをより魅力ある施設となるよう検討していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	大規模改修については一旦立ち止まって検討することとなったが施設は老朽化しているので利用者が安全かつ快適に利用できる魅力ある施設となるよう検討していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 6月 6日

中施策事業名	文化財保護事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	相羽 敏明
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	歴史・伝統・文化の保護・継承を支援する		
④中施策事業の対象	市内在住、在勤者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	地域の歴史・伝統・文化を正しく認識し、愛着をもって継承している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ナガバノイシモチソウ ・大狭間湿地 ・市文化財の保護、保存及び補助金 ・市文化財の保護、保存及び補助金の申請及び交付 ・文化財保護委員会 ・文化財の維持管理 ・埋蔵文化財の調査、実測及び台帳への登録		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
一般公開見学者数 (ナガバノイシモチソウ)	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	570	580	590	600	610	0
	実績値	759	805				
単位	人						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				10,330千円	8,206千円	
	a 事業費合計			10,330千円	8,206千円	9,891千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計			0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				10,330千円	8,206千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				150 円	119 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 一般公開当日は天候にも恵まれ、目標を上回る人が来場した。 提灯山のイベントでは若干の反省点はあるものの多くの人に参加してもらった。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	歴史民俗資料室においてワークショップや講座を充実させ、市民が豊明市の歴史や自然に関心を持ち、継承していけるような環境を整えていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	歴史民俗資料室の展示やワークショップ等を工夫することで、幅広い年代の人が豊明市の歴史や自然に親しみ、誇りを持てるようにする。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 6月 6日

中施策事業名	市史編さん事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	相羽 敏明
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	歴史・伝統・文化の保護・継承を支援する		
④中施策事業の対象	市内在住、在勤者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	地域の歴史・伝統・文化を正しく理解している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・市史の編さん及び編さん委員会 ・市史新規資料の受け入れ ・広報「とよあけの自然」、「市史だより」 ・愛知県市史整備市町村協議会 ・歴史民族資料の収集及び資料室 ・歴史民族資料調査研究会 ・史跡ガイド		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
市史販売数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	20	20	20	20	20	0
	実績値	12	9				
単位	冊						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和04年度	令和05年度	令和06年度	
① 総事業費 (a+b)				2,967千円	3,569千円		
	a 事業費合計			2,967千円	3,569千円	4,361千円	
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
			人件費合計			0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)			2,967千円	3,569千円			
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				43 円	52 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	指標の内容を見直す必要がある	△	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 歴史民俗資料室は多くの方が来所され、展示物はもちろん、ワークショップ開催など市民が本市の歴史を理解する場を提供できた。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	市民から多くの民具の寄贈を受け、これらを歴史民俗資料室への展示に際して有効活用していきたい。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	歴史民俗資料室が多くの方が魅力を感じられるような施設をめざす。そのためには専門的知識を持った学芸員の採用も検討する必要がある。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 6月 6日

中施策事業名	陶芸の館管理事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	相羽 敏明
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	歴史・伝統・文化の保護・継承を支援する		
④中施策事業の対象	市内在住、在勤者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	かつての陶芸産地であった歴史的経緯を理解し、現在も文化を継承するとともに発信し続けている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・陶芸教室 ・陶芸の館の管理、運営及び支払い		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
陶芸の館利用者数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600	0
	実績値	1,113	1,363				
単位	人						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和04年度	令和05年度	令和06年度	
① 総事業費 (a+b)				3,567千円	1,933千円		
	a 事業費合計			3,567千円	1,933千円	2,175千円	
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
			人件費合計			0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)			192千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)			3,375千円	1,933千円			
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				49 円	28 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 利用者増にむけ、陶芸教室の市民大学ひまわりへの委託のほか、県の陶磁美術館の出張陶芸教室を利用するなど陶芸に親しんでもらえるきっかけづくりができたが、それが利用者の増加につながっていない。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	学校を通じて陶芸教室の広報活動を行い、子どもにも親しんでもらえるような幅広い世代の利用を促していくとともに、県陶磁美術館の学芸員の方などの協力を得て教室内容を充実させていきたい。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	施設自体のあらゆる年代の人が参加できるような講座内容としていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 6月 6日

中施策事業名	市民文化育成事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	相羽 敏明
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	歴史・伝統・文化の保護・継承を支援する		
④中施策事業の対象	市内在住・在勤者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	世代や分野を問わず、文化的な素養を高め、発信し続けている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・文化協会等の団体育成及び指導		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
市民文化講座等の 参加者数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	1,800	1,800	1,850	1,900	1,900	0
	実績値	1,447	1,497				
単位	人						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和04年度	令和05年度	令和06年度	
① 総事業費 (a+b)				1,172千円	972千円		
	a 事業費合計			1,172千円	972千円	972千円	
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
			人件費合計			0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				0千円	0千円
③ コスト (①－②)				1,172千円	972千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				17 円	14 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	指標の内容を見直す必要がある	△	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B コロナの感染症の取扱いが変更となり、講座への参加人数は増加している。本年度は指定管理者が変更となったが、評価指標となっている講座等の参加人数は指定管理者への受託事業であるため、講座内容と指定管理者と協議していく。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	事業の参加人数の増加を目指し、周知方法や開催方法を工夫していく。また指定管理者と協議し、アンケート等の分析をし、参加者のニーズに合った事業の実施を検討していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	市内の文化活動団体の活動やイベントを発信する方法を工夫し、より多くの市民が参加できる事業を展開する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等